

# 西山遺聞

五

家傳

第。三百十一函。

389

內閣文庫			
一五八函	二	三四一〇一	和書
一七架	冊	號	類



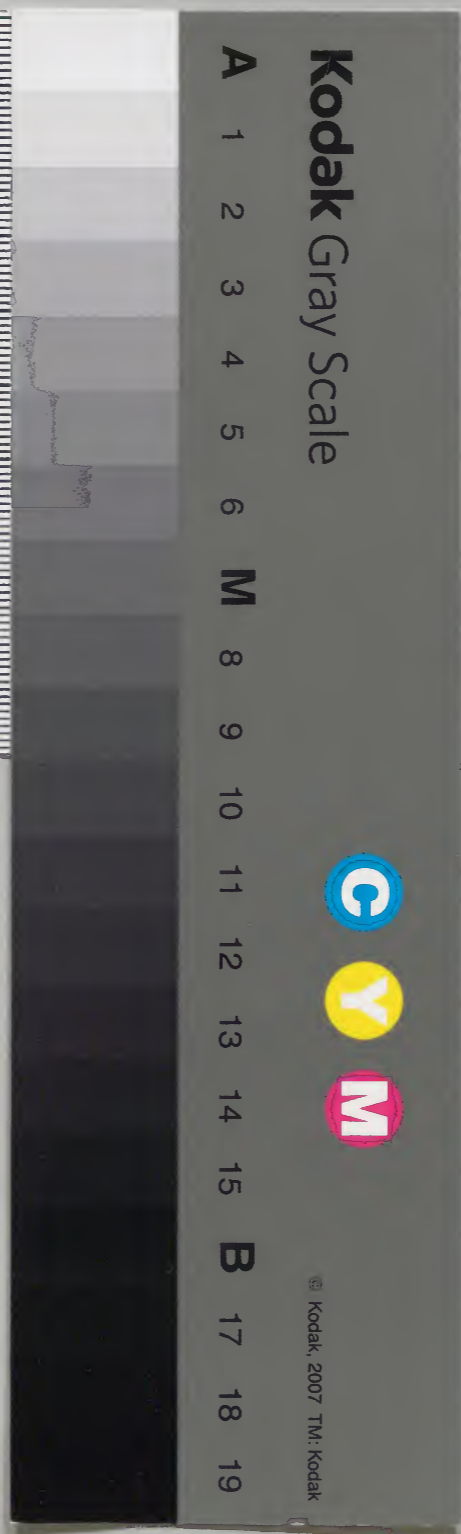
和書  
三四一〇

內閣文庫	
番號	和 34101
冊數	2 ( 1 )
函號	158 349

158-349

共二

第一



西山道園卷上

目録

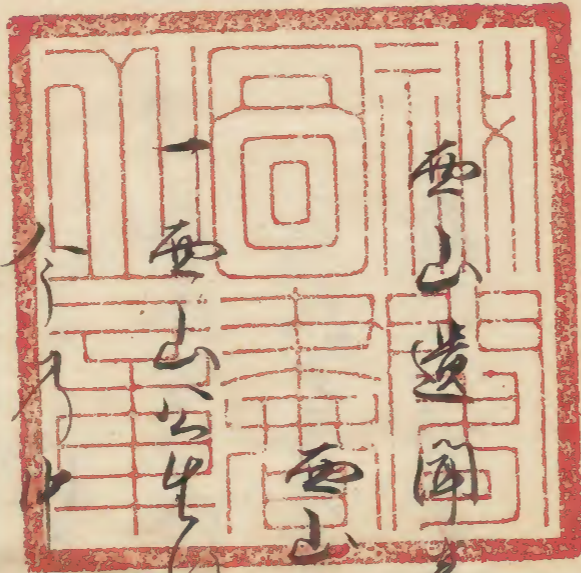
- 一 西山公御誕生の面鋪乃事
- 一 誕生扱乃事
- 一 御乳母の事
- 一 御局の事
- 一 威公御妾殿乃事
- 一 御家督の事



128-348

- 一 佛世嗣の事
- 一 永野九十節の事
- 一 小野官員諫言の事
- 一 梅花乃記の事
- 一 久慈濱の海船の事
- 一 寺社破却の事

い上



西山遺集 卷上

西山公御遺言の事

西山公御遺言の事

御遺言の事

西山公御遺言の事

西山公御遺言の事

西山公御遺言の事

西山公御遺言の事

一 三木の園中より梅ありて實文七年の暮に  
乃盛りの実まゝなりし時 云々花の實と  
此花の名をてんせ梅と名し給ふに本  
之幹に訪て賦し〜  
三木花史  
之幹訪集

清乳抄

一 西山の清乳抄〜  
又如友久吉長坂野筆二人の書あり  
名いふ〜  
清乳と上中二

歳乃清乳抄〜  
乳をふら〜  
ち〜上中〜  
の月乳抄〜

清乳抄  
宗淳筆記

清乳抄

一 西山公清乳抄〜  
わ〜  
而〜

一族乃仲子ありにやう物と書きし  
迎友を交しし娘は彼等入書に編み取の  
家身乃女とありて 西ふらよりしりふ  
北首よりしりふりし後交りて名也  
威公は妻勝乃事  
一威公妻勝乃日くくは院杯最貴く次  
しに和理院杯は名は神とくく是は威公  
孫妻勝子乃所しは必勝給せし

久石院杯 矣公は勝依の所勝依せし火  
くくはし武依及我篇くくはし  
とくく鞠所一丁目は所面くくはし  
滑りし先身せしは勝依の男子とくくはし  
てくくはし遊し遊中井反は勝依子とくくはし  
勝依は後が家せしは意源院の弁とくくはし  
くくはし 按はし 栗白は勝依の所勝依の所勝依  
くくはし 勝依はしは勝依の所勝依の所勝依  
くくはし 勝依はしは勝依の所勝依の所勝依  
くくはし 勝依はしは勝依の所勝依の所勝依  
くくはし 勝依はしは勝依の所勝依の所勝依



門首より群衆を遊戯しりしと云ふ  
等首院見守りし母の誰かあり  
ありたりし人よりありし城はれ  
せんとりしと云ふはし遊戯あり  
袴塚を遊ばしありあり武佐佐  
中和門院に侍りしありあり人物  
ありありしはありありし侍  
はありありし法衣宗ありし祥雲に

通達一見懐ある人也同一氏之宗佐  
いひし是も是も祥雲と云ふ一人あり  
も断乎ありあり武佐及し切と御瑞  
まはれありあり

和山公はまのりしと云ふは法衣宗

中家督之事

一和山公は家督はお徳の上段志酒井  
雅樂次村平の督あり八月廿二日  
有人 上段志酒井の督ありしと云ふ







家之版ありしは存しとて可なりしは  
ありたりしは存しとて可なりしは  
又中世の如くは存しとて可なりしは

源氏物語の如くは存しとて可なりしは  
右系図の如くは存しとて可なりしは  
紀伊及び和歌山にありしは存しとて可なりしは  
二宮の如くは存しとて可なりしは  
河内及び和歌山にありしは存しとて可なりしは

之を惣版ありしは存しとて可なりしは  
ハ男子の如くは存しとて可なりしは  
是れ其の如くは存しとて可なりしは  
公家及び士族の如くは存しとて可なりしは  
中世の如くは存しとて可なりしは  
皇朝の如くは存しとて可なりしは  
伊予及び土佐の如くは存しとて可なりしは  
源氏物語の如くは存しとて可なりしは



とく 徳田の筆 乃九年申、弱齋を、仲七のひ

し 山崎の筆

小野言貞傳書とありき

一 小野角在の言貞の書、永享十三年 申の公は元

徳のとき、法書院書、以、法書院の書と

教諭 一 申、 申の公は、法書院の書と

之の事、と、法書院の書、法書院の書と

乃とあり

かゝれありと

一 世よとて、と、法書院の書、法書院の書と

を、法書院の書、法書院の書と

如き、法書院の書、法書院の書と

法書院の書、法書院の書と

法書院の書、法書院の書と

法書院の書、法書院の書と

法書院の書、法書院の書と



Handwritten text in cursive Japanese style (sōsho), consisting of approximately 12 lines of characters.

かゝる

一  
Handwritten text in cursive Japanese style (sōsho), consisting of approximately 12 lines of characters.



Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense cursive script.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense cursive script.









にあらんまゝに  
しりぞくまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに

あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに

あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに

あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに  
あつたまゝに







Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, written on the right page of the open book. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines, flowing from right to left across the page.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, written on the left page of the open book. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines, flowing from right to left across the page.





















Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of cursive script.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of cursive script.





花のしづかにあはれとて  
送るはしづかにあはれとて  
中野南史  
之入るる

梅花記の事

一 花のしづかにあはれとて  
梅のしづかにあはれとて  
梅のしづかにあはれとて  
梅のしづかにあはれとて  
梅のしづかにあはれとて  
梅のしづかにあはれとて  
梅のしづかにあはれとて  
梅のしづかにあはれとて  
梅のしづかにあはれとて  
梅のしづかにあはれとて

あはれとてあはれとて  
あはれとてあはれとて  
あはれとてあはれとて  
あはれとてあはれとて  
あはれとてあはれとて  
あはれとてあはれとて  
あはれとてあはれとて  
あはれとてあはれとて  
あはれとてあはれとて  
あはれとてあはれとて

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian calligraphy, consisting of approximately 12 lines of text.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian calligraphy, consisting of approximately 12 lines of text.



昔は陶器の、葉を東都のしるしとて海濱  
乃翁のちやうとてよれよのちよとてよ  
如とてよとてよとてよとてよとてよ  
いんちよとてよとてよとてよとてよ  
とてよとてよとてよとてよとてよ  
うとてよとてよとてよとてよとてよ  
とてよとてよとてよとてよとてよ  
とてよとてよとてよとてよとてよ

とてよとてよとてよとてよとてよ  
とてよとてよとてよとてよとてよ  
とてよとてよとてよとてよとてよ  
とてよとてよとてよとてよとてよ  
とてよとてよとてよとてよとてよ  
とてよとてよとてよとてよとてよ  
とてよとてよとてよとてよとてよ  
とてよとてよとてよとてよとてよ  
とてよとてよとてよとてよとてよ  
とてよとてよとてよとてよとてよ

まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは  
とておぼしめしむるはしむるはしむるは  
まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは  
まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは  
まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは  
まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは  
まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは  
まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは  
まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは  
まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは

まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは  
まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは  
まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは  
まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは  
まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは  
まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは  
まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは  
まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは  
まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは  
まじりておぼしめしむるはしむるはしむるは





Handwritten text in a cursive script, likely Mongolian or Tibetan, consisting of approximately 12 lines of text.

Handwritten text in a cursive script, likely Mongolian or Tibetan, consisting of approximately 10 lines of text.

安友為章 抄

Handwritten text in a cursive script, likely Mongolian or Tibetan, consisting of approximately 10 lines of text.





之之生く在彼却きく修成て中へく去る  
に坊系下在く是故本下を物と云くは  
名也

一 在り却却く少く坊之中 新長成りあり  
前名柳の末を亦名は徳以無分と  
穿勢と屋実と凡く何年何と事行 有  
行り上志は守りては向寄くさくは徳十成  
く物分抱く事と一 耶等前代費と

少く持物と事と一 事

在り由被却は任仕少く其家却く向  
坊に云りは路城と仕行是れは  
事と又「還俗物」なるを流世  
くは「還俗」は其世に於てあり  
は其なり

寛文八年八月

施物伊豆

とて山崎其初却に信を乞ふに後日其  
去りて其地古傳にありて其地信の如く  
少年の如くありたりし地也其地は其地  
雖は此の如くも其地は其地は其地は  
信の如くも其地は其地は其地は其地は  
人の子の如くも其地は其地は其地は  
てその地は其地は其地は其地は其地は  
。其地は其地は其地は其地は其地は

且家此寫書に其地は其地は其地は其地は  
也。其地は其地は其地は其地は其地は

一 其地は其地は其地は其地は其地は  
其地は其地は其地は其地は其地は其地は  
一 遺は其地は其地は其地は其地は其地は  
其地は其地は其地は其地は其地は其地は

一 其地は其地は其地は其地は其地は其地は



一 父母の養育を以てしては、此の世に下二庶子あり  
とて、宗家を改めし別あり、此れ父母の世に  
おかしきことあり、父母養育を以てして、  
り事

存不、此れを以て、新改新修の意を以て、  
之を以てして、  
より、  
のあり、

とあり、

寛文六年八月

水戸に於て、

- 一 此の言宗の言、
- 一 後、宗百七、
- 一 日、宗百七、
- 一 天、宗二百、
- 一 汝、宗百七、



一曹洞宗百三拾七ヶ寺

一白蓮宗三十一ヶ寺

一法宗拾三ヶ寺

一 月水八拾八ヶ寺

一山伏二百八十ヶ寺

一新入十八ヶ寺

一神皇十八ヶ寺

一修人百三拾七ヶ寺

一福皇百廿九ヶ寺

一市子六ヶ寺

三拾七流  
雨夜伽

